

令和6年度 牛乳料理コンクール 結果報告

県大会 (第44回群馬県大会)

- (書類審査) 令和6年9月18日(水) 午後2時00分
前橋市亀里町 農協ビル 10階 第6会議室
- (実技審査) 令和6年10月5日(土) 午前10時 開会
前橋市小屋原町 群馬調理師専門学校 西洋料理実習室
応募総数 181名 185作品

審査委員

- 審査委員長 佐俣 俊彦 学校法人山崎学園東日本製菓技術専門学校 校長
審査委員 小野 勝 学校法人山崎学園群馬調理師専門学校 副校長
審査委員 吾妻 絢子 群馬県農政部農業構造政策課普及指導室 副主任
審査委員 磯田 有香 群馬県健康福祉部 食品・生活衛生課
食品衛生係 主幹

入賞者

- | | | | | |
|----------------|------|-----------|----|----------------------|
| 最優秀賞
(県知事賞) | 高崎市 | 畑岡 心愛 | 作品 | 手軽で簡単クロワッサンキッシュ |
| 優秀賞 | 安中市 | 磯貝みなみ | 作品 | 和風カップクリームグラタン |
| 優良賞 | 藤岡市 | 山浦菜奈聖 | 作品 | ミルクとっちゃんげ汁 |
| 〃 | 前橋市 | 鈴木 七虹 | 作品 | 牛乳と梨のホワイトクリームデザートパスタ |
| 〃 | 前橋市 | 北爪舞日菜 | 作品 | 米粉と餅のもちもちミルクドーナツ |
| 〃 | 前橋市 | 齋藤 梨菜 | 作品 | もちもちサラダクレープ |
| 〃 | 伊勢崎市 | 西村 美音 | 作品 | 夏野菜で!群馬流逆カレー |
| 〃 | 渋川市 | 佐藤 颯 | 作品 | いり卵そうめんホワイトソースがけ |
| 〃 | 前橋市 | マニエルプリンセス | 作品 | ソーパス(フィリピン料理) |
| 〃 | 渋川市 | 新井 美優 | 作品 | じゃがいもごろごろシチュー |

(優良賞の記載は整理番号順です。)

関東大会

- (開催概要) 令和6年11月23日(土)
東京都 武蔵野調理師専門学校
群馬県大会の上位2名が出場(当日出場者全17名)

(競技結果)

- | | | | |
|-----|-------|----|-----------------|
| 第3位 | 畑岡 心愛 | 作品 | 手軽で簡単クロワッサンキッシュ |
| 優良賞 | 磯貝みなみ | 作品 | 和風カップクリームグラタン |

J・Aひろば

毎月1・11・21日に掲載

農作業の効率化推進

肥土として活用。植物が吸収しやすい「二価鉄」を葉面散布材に使用するなど、多様な技術を積極的に採用する。

こうした取り組みは、キウリの収量や品質の向上にもつながっている。選果場でのA品率は「割ほど高い秀品率を実現している。原さんは「いかに楽して、良いものを作るかを考えてきた結果」とほほえむ。

米栽培では、集落営農生産組合(南玉)の設立当時から組合員を誘い、地域の農業維持・振興に尽力してきた。

生産者の高齢化が進む中、個人所有の大型機械を法人で買い取り、燃料や農業などの生産資材を共同で購入



1955年2月、玉村町農志会長を歴任。認定農業者協議会会長などを務める。はら・やすはる、玉村町生協農業者協議会農業者委員を務める。2023年から

本年度の県農業賞受賞者2人が決定した。県内の農業振興に貢献している中堅農業者を対象にJ・A群馬中央会が毎年選定している。栽培技術や経営の改善に力を注ぐ受賞者の歩みを紹介する。

(次回は11月11日掲載)

物が当たるがキャンペーン

「真」として消費する食料をできるだけ国内で生産する」という考え。J・Aグループでは10月16日の「国産産物の日」を中心に10、11月を「国産産物月間」と位置づけています。

キャンペーンでは、各都道府県で3千円相当の賞品を300セットずつ用意し、本県は上州豚豚ロースの切り身(冷凍)をプレゼント。好きな賞品を選んで



公式ライン 公式サイト

するなど、生産コスト削減を推進。育苗から田植え、稲刈りまで共同で行い、作業の効率化を進めてきた。

原さんは、高齢になっても農業を続ける生産者が増える一方で、加齢とともに力仕事が大変な負担になっていると指摘。「できるだけ長く農業を続けていくためには、作業の効率化が欠かせない。若い人たちの意見も積極的に取り入れながら、今後も法人を維持していきたい」と意気込む。

農業に励んでも間もなく50年。これから年を取り、収量を増やすのは難しい。いかに秀品率を上げられるかを考えながら、あと10年は農業を続けていきたい。自分の体に無理のない範囲で、楽しんで稼ぐことが目標。朗らかな笑顔をのぞかせた。

応募でき、抽選で計1万4100人に当選のチャンスがある。希望賞品に外れても再抽選で別の県の賞品が当たる可能性がある。全国約17000の直売所で展開しており、県内は27の直売所が対象。直売所に来店し、店内に掲示されているポスターの2次元コードから得られるスタンプを2個集めることで応募できる。スタンプの獲得は1日1回まで。同じ直売所でも別の日に訪れれば、新たにスタンプを獲得でき繰り返す

5千点以上が送料無料

J・A通販 11月未まで

J・A全農が運営する産地直送通販サイト「J・Aタウン」は「国産産物月間」に合わせ、送料を無料にするキャンペーンを11月未まで実施している。

前橋産農畜産物の消費拡大や直売所「ゆうあい館」の利用率向上を図ろうと、J・A前橋市は弁当レシピコンテスト「弁当甲子園」を初めて開催する。「まずはし野菜たっぷり!健康を意識したお弁当」をテーマに、目玉商品となるようなレシピを募集している。11月22日まで。応募の対象は前橋市内在住の個人またはグループ。考案するレシピは、同J・Aが重点品目に掲げる前橋産の農産物8品目(キウリ、ナス、ネギ、ブロッコリー、ホ

畑岡さん(群馬)最優秀

牛乳料理コンクール県大会

牛乳料理コンクール群馬



最優秀賞に輝いた畑岡さん(左)と優秀賞の磯貝さん

牛乳を使った料理のアイデアを競う第44回牛乳料理コンクールの県大会が5日、前橋市の群馬調理師専門学校で開かれた。1801人185点の応募作品の中から書類審査を通過した10人が実技審査に臨み、制限時間の中で考案したレシピを調理した。畑岡心愛さん(吉井高3年)の「手帳で簡単クロワッサンキッシュ」が最優秀賞(県知事賞)、磯貝みなみさん(高崎女子高1年)の「和風カップクリームグラタン」が優秀賞に輝いた。

母の手作りキッシュが好

直売所の目玉商品に「弁当甲子園」を初開催 J・A前橋市がレシピ募集

物だとう畑岡さんは、パイ生地代わりにクロワッサンを使用し、牛乳やバター、ホウレンソウなどを入れたオリジナルのキッシュを考案。まさか最優秀賞に選ばれるとは思わず、びっくり。練習を手伝ってくれた母や、アドバイスをくれた父のおかげで書かれた。優秀賞の磯貝さんは、牛乳にみそも白だしなどを加え、仕上げに火を散らすなど、グラタンを和風にした上で、「普段あまり料理をしないので、火を使わずにレンジやオーブンで手軽に作れるように工夫した」と笑顔を見せた。

2人は県代表として、11月23日に都内で開かれる関東大会に出場する。コンクールは日常の食生活に牛乳や乳製品をより活用しようという、消費拡大につなげようという県乳普及協会が毎年開催している。

前橋市のJ・Aビルで開かれた贈呈式で、竹下佳郎支店長(写真左)が同法人の目崎妙子スーパーアドバイザー(写真右)に賞品を贈呈した。支店長は農林中央金庫のバスタードを賞品に贈った。職員からは、米20kgや乾麺、缶詰などに加え、タオルやせっけんといった雑貨や辞典などの書籍が寄せられた。

同支店では、2021年4月にSDGs(持続可能な開発目標)に関する支店内プロジェクト「グンサス」を発足。プロジェクトの一環としてフードバンクへの寄贈を実施している。7回目の寄贈となる今回は、職員からの意見を受け、食品以外にも寄贈品の対象範囲を拡大。雑貨や児童用の書籍なども募った。職員からは、米20kgや乾麺、缶詰などに加え、タオルやせっけんといった雑貨や辞典などの書籍が寄せられた。

へ食品や書籍・雑貨などを寄贈した。

同支店では、2021年4月にSDGs(持続可能な開発目標)に関する支店内プロジェクト「グンサス」を発足。プロジェクトの一環としてフードバンクへの寄贈を実施している。7回目の寄贈となる今回は、職員からの意見を受け、食品以外にも寄贈品の対象範囲を拡大。雑貨や児童用の書籍なども募った。職員からは、米20kgや乾麺、缶詰などに加え、タオルやせっけんといった雑貨や辞典などの書籍が寄せられた。

ゆうあい館などに置かれている専用のエンターシートに必要事項を記入して郵送(J・A前橋市弁当甲子園実行委員会、〒379-2161 前橋市富田町2400-1)するか、専用のフォーム=右記コード=から応募する。問い合わせは、同実行委員会(☎027・261・3000)へ。

対象は全国各地の5千点以上の農畜産物商品と300以上の水産物商品。J・Aタウン内のショップ「新鮮ぐんまのり館」では、上州牛や上州豚豚をはじめ、キャベツなどの旬の野菜、うどんやパスタなどの加工品まで多彩な商品を取り扱っている。

期間中に新規で会員登録すると、抽選で1万人に千円分のクーポン券が当たる。J・A新規会員登録キャンペーンも同時に実施される。

併せて、販売価格が低迷する中、生産資材価格が高止まりするなど厳しい生産状況にあるぐんまのり館の消費拡大を図ろうと群馬のぐんまのり館へ食糧支援企業も開催。新鮮ぐんまのり館で販売する生幸ぐんまのり館へ食糧支援企業



農林中央金庫前橋支店(左)と農林中央金庫群馬支店(右)の職員らと受賞者ら

J・Aみどりの風 GTV

秋だよ!ぐんまのきのこ集合(再放送)13日午前8時~8時半
~群馬県きのこ振興協議会高シリを特集!
秋の味覚「きのこ」を現場を訪ね、市内のきのこ生産者や現場を訪問し、イタケやマイタケの生産現場の様子をレポートします。群馬のきのこを愛用し、お薦めレシピもご紹介。
▶まるごとぐんま食べまくり!収穫感謝祭2024
(14日午後9時~9時半、再放送20日午前8時~8時半)
~J・A群馬中央会県内最大規模の農業イベント「J・Aグループ群馬収穫感謝祭2024」をレポート。県内各地から集まった農畜産物や会場の様子を紹介。中村リポーターが会場内の野菜やグルメを味わい尽くす。

JAのるるる

毎月1・11・21日に掲載

持続的な発展へ5戦略

3カ年の活動方針決議

J Aグループ群馬の第43回J A群馬県大会が11月27日、前橋市の昌賢学園まほしホールで開催され、県内各J Aをはじめとする関係者約1,000人が出席した。農業を取り巻く環境が大きく変化する中、グループの存在意義を「協同活動と総合事業で農と農を支え、豊かに暮らしと活力ある地域社会を実現する」とことと定義。10年後を目指す将来像を定め、2025年度から3年間の活動方針となる大会議案を決議した。



今後3カ年の活動方針を定めたJ A群馬県大会

へ対応し、「理解醸成に向けた関係性を、基本的な考えとして掲げ、(1)食料・農業の持続性、(2)地域活性化、(3)経営強化、(4)仲間づくり、(5)経営強化の5つを軸とした具体的な取り組みを示した。(1)は次世代の担い手確保や環境に配慮した農業の推進、(2)は国産品の振興を通じ、農業者の所得増大や生産物の安定供給の確保を目指す。(3)は協同活動と総合事業を通じて、組合員個々の課題解決を実現し、地域社会の持続的発展に貢献する。(4)は組合員との対話イベントを通じた人材育成、組合員間の親睦活動、関係強化や組合員数の維持、拡大を目指す。(5)はPOCA管理の強化、(6)はPOCA管理の実践とガバナンス強化による信頼を高め、組合員への価値を高めていく、と掲げている。

手作りこんにやく気軽に

若手が動画制作



調理の様子を撮影する全農くんまの職員

群馬県産産物販売協会「全農くんま」は、特産であるこんにやくの消費拡大につなげるべく、全農くんまが販売する「手作りこんにやく」の作り方を紹介する動画を制作した。動画の制作は、全農くんまの若手が企画、県庁のソーシャルメディアで発信する。動画は、全農くんまのホームページでも活用している。

造林地 カラムツ植樹

援林プロジェクト2年目



カラムツの苗木を植える職員

地域の関係人口を増やし、木材生産を促進する「援林プロジェクト」が今年2年目を迎えた。同プロジェクトは、県庁とJAグループが連携し、造林地を確保し、苗木を供給している。今年度は、前年度と同様に、県内各地で植樹が行われ、地域の活性化に貢献している。

牛乳料理コンクール関東大会

畑岡さん 3位入賞



関東大会3位入賞を喜ぶ畑岡さん

本年度の牛乳料理コンクール関東大会「関東牛乳販売協会の主催」で、11月23日に都内で開催された。吉井町の畑岡さんが、3位入賞を果たした。畑岡さんは、「料理の創作」をテーマに、牛乳を活用したオリジナルの料理を制作し、審査員から高い評価を受けた。

J Aみどりの風 GTV

太陽と大地の恵みを凝縮—ヤマトイモ—
(再放送) 1日午前8時～8時半
～J Aにまつたみどりの風～
全国的にも有名なヤマトイモ産地、J Aにまつたみどりの風をテーマにした料理を特集します！
▶第37回 高崎市農業まつり (2日午後9時～9時半、再放送8日午前8時～8時半)
～J Aたかさき～
高崎市農業まつりから、同市のJAグループの取り組みや、JAグループの活動を紹介する。

あなたの温かい善意を、「愛の募金」へ。

公益財団法人 上毛新聞厚生福祉事業団

「愛の募金」は県民の皆さまの温かい善意に支えられています。

「愛の募金」は戦後、復興支援を目的に行われていた被災者救済活動が、1971年に開始されました。以来、個人や企業、団体のご寄付、チャリティーイベントの収益金など、県民の温かい善意に支えられています。2023年には、被災者救済のための募金を、県民の温かい善意に支えられています。2023年には、被災者救済のための募金を、県民の温かい善意に支えられています。

“小さな善意が大きな力に”

募金受付場所(平日午前9時～午後5時)
上毛新聞社 本社(群馬県高崎市)、高崎支店、東毛新聞 奥内支店、沼田支店、赤川支店、中之条支店、藤岡支店、富岡支店、安中支店、桐生支店、伊勢崎支店、館林支店、大泉支店、わたらせ支店
銀行振込
銀行名 群馬銀行 本店営業部
口座番号 普通 0979813
名義 公益財団法人上毛新聞厚生福祉事業団 理事長 関口雅弘
〒470-0001 群馬県高崎市上毛新聞ビル4階
※銀行振込で「愛の募金」にご協力頂く場合は、下記事項をお電話かFAXでご連絡ください。また、下記事項をお電話かFAXでご連絡ください。
※募金する方のお名前または企業・団体名(代表者名・役職名)
※ご振込先(郵便番号、住所、電話番号) ※振込金額 ※振込口座
※「愛の募金」には協賛の団体があります。貴社との関係は特異な場合があります。貴社の関係は特異な場合があります。貴社の関係は特異な場合があります。貴社の関係は特異な場合があります。